



機同啄啐

わかまつはら
若松原中学校学校だより
第12号
令和7年1月31日
発行者 永井 高穂



令和6年度スローガン 「挑み 鍛え 前へ」

上記QRコードより、「わかまつはら 若松原中学校」ホームページもご覧ください。

厳寒の候



◆学校からの眺め◆

冬の早朝、空気が澄んできた今日この頃。3階の渡り廊下から南西の方向に富士山が見えます。また、南東には筑波山が、北西には男体山をはじめとした冠雪した日光連山が、そして、北には高原山を眺めることができます。また夕方には夕日を浴びた富士山も素晴らしいです。

2学期の後半が、1月8日より始まり、その1月も終わり、今年度も残り2か月となります。ここ数日は、県内においても厳しい寒さが続いております。

学校では、インフルエンザ等、感染症の罹患者数は多くありませんが、まだまだ心配な状況にあります。これからの2か月は、学年のまとめと新年度に向けての準備となる重要な時期であり、陸上競技の助走の時期です。1年生は基礎固めと先輩になる準備、2年生は最上級生となる心構え、そして、3年生は受験と大切な時期に入りますので、ご家庭におかれましても、家族皆さんの感染防止について、対策の継続をお願いいたします。

地域未来塾Ⅳ期 1/15(水)・22(水)・29(水)・2/12(水)・19(水)

今年も生徒の学力向上応援のため、地域協議会の活動の一環として、地域未来塾を開講しました。今年度は昨年の6月、9月、11月、そして今回の第4期と、希望者を募り、疑問や質問には学習支援員さんに応えていただき、一人一人が自主学習を進めます。参加生徒は毎期30数名の生徒が意欲的に学習に取り組み、学びを深めています。来年も同様の活動を行う予定です。

小6生中学校訪問・新入生保護者説明会

1/17(金)、R7年度入学予定の児童が本校を訪問しました。1、2年生の授業の様子を見学したあと、生徒会の代表生徒による「中学校の生活」の説明を行いました。その後、部活動を参観しました。児童は、少しの緊張がありながらも、中学校見学を楽しんでいました。また、同時に、新入生保護者説明会を行い、各係から中学校に入学するにあたっての必要事項を説明しました。



WGS (W(若松原)・G(五代)・S(新田)) あいさつ運動



寒さに負けず、元気なあいさつで生徒の登校を見守ります。地域学校園として、多くの保護者や地域の方々にも参加していただきました。来年もあいさつの輪を広げべくご協力をお願いいたします。

1年生：とちぎ未来大使『夢講座』

1/28(火)、1年生が「夢講座」を開催しました。とちぎ未来大使を務めている「DJ kei」こと菊池元男様をお迎えして「夢を叶える魔法の言葉」と題して講話をしていただきました。自身の経験を踏まえて、「頑張れば、あきらめなければ夢は叶う。」「自己ベストを出さずにいるのはもったいない。」など、自分がやってみようと思ったことにチャレンジし、努力することの大切さを学びました。「これから努力すれば、何者にもなれる」という生徒の感想に生徒たちの限りない可能性を感じました。



立志に誓う 1/30(木) 2年生が立志式を行いました。まっすぐな竹が必要なところに節ができることで、高く、しなやかな竹に成長することができ、どんなに強い風が吹いても折れたり倒れたりしないのと同じように、14歳は、人生において節目の年です。生徒たちは、これを機に夢をもち、目標をもって、その実現に向けて感謝の気持ちを忘れずに努力してほしいと話しました。



代表生徒の立志作文発表があり、内田眞裕さんが、なりたい自分になるために、「行動する前に一度冷静になって考える時間を作ること」「何事も自分事として捉え自ら主体的に行動する」を習慣化したいと、また、水谷侑禾さんが、将来海外へ行き、貧しい子供達への支援をしていきたいとの思いから、「海外の文化や歴史を学ぶ」「共通語である英語を身に付ける」ため、今まで以上に勉強に力を入れていきたいと発表しました。さらに、松永羽菜さんが「これからの予測困難な時代を生き抜くために、何事にも努力を惜しまず、挑戦し続けることが必要であるから、立志式を機に将来への目標を立て、未来に向かって精進していくと立志の誓いを立てました。

立志記念行事 式後には、記念行事として社会体験学習発表、立志の思い、記念ムービーを立志式実行委員が企画し、進行之ました。社会体験学習発表では、陽南第二幼稚園、宮ラジ、南図書館の3事業所の発表を行い、その他の事業所の発表内容は掲示しました。「立志の思い」では、生徒一人一人が「〇〇になりたい」という思いを全員の前で発表しました。最後に入学してから立志を迎えるまでのムービーを懐かしくも楽しく鑑賞しました。



教室に戻った生徒の机の上には、保護者からの手紙が置かれており、生徒の中には、手紙を読み、感動し、涙する生徒もいました。